

みまた

「人権学習会」 & 「消費者問題・交通安全学習会」



2月22日(火) JR折居駅となりでギャラリーと珈琲の店を経営しておられる田中昭則さんに「いかに生きるか～白血病を体験して～」と題して講演していただきました。

45歳から50歳までの間に仲間の皆さんと「欽ちゃんの仮装大賞」に3回出場し優勝と準優勝の経験をもつ田中さん。

52歳の時突然に“慢性骨髄性白血病”と診断され、人生には限りがあると分かっていたが、自分の命の終わりはまだまだ先の事だと思っていた。入院中今までの人生に思いを巡らす時、生きてきた過去の自分に対して悔いが残り、やりたいと感じたものを大切にして生きたいと思うようになった。闘病生活は今年で18年目、治療を続けながら、骨髄バンクへの協力など誰かのためになる事をしたい、人の役に立ちたいと喫茶店を開き、ギャラリーは年内予約でいっぱい状況で、生きがいが見つかってよかった。これからも毎日を笑顔で生きていきたいと結ばれました。



反射タスキの効果確認



酔っ払い体験

人権学習会に引き続き、今福駐在所の日原巡査部長と波佐駐在所の竹縄巡査長にお越しいただき、消費者問題・交通安全学習会を開催しました。近年市役所職員を名乗り「還付金がある」「利用料金の未払いがある」などの高齢者を狙った詐欺事件が多発しています。本当なら封書やハガキで連絡があるはずですが。おかしいと思ったら警察へすぐ相談してほしいとお話がありました。

また、特殊なメガネをかけて夜光反射材を付けた時の見え方を体験したり、飲酒した時の歩行体験を行いフラフラする様子を経験しました。

最後に、人に気づいてブレーキを踏むまでの時間を計る体験も行いました。まず年齢を入力し、目の前の機械が光った時足元にある同じ色カードを踏んで操作時間を計測しますが、年齢相応より時間がかかっていました。



俊敏性体験

車が絶対止まってくれるとは限らないので、周囲から見える夜行チョッキやタスキ、明るい服装を身に付け家族が悲しまないような行動を取りましょうとお話がありました。お互い気をつけましょう。

ひな祭り&ミニミニ文化祭



2月17日(木)～3月11日(金)の間「お雛さま&ミニミニ文化祭」を開催しました。新聞やケーブルテレビでも紹介され、遠近各地域から110名近い多くのお客様が見に来てくださいました。

遠方から来られた方は「昔を思い出して懐かしくて来てみました。」「古いものなのに大事にとってあるなあ。」などと話してくださいました。

また、文化祭では趣味を生かして作られた作品が並び「こりゃあ何かな?」「根気のいる細かい作業なのにすごいなあ。」「水彩画かと思ったらちぎり絵ですね。」「やさしい色使いがステキだわ」など関心した様子で会話も弾みました。出展、来場された皆さまありがとうございました。



タペストリー



毛糸の手芸品



木の根



石炭の塊



パンピのぬいぐるみ



ネズミ捕り



ドライフラワー



つるし飾り



タペストリー



モヘアのショール他



人參の絵



広告で作った鍋敷き



刺 繍



ちぎり絵



ぬり絵



クロスステッチ



ぬり絵



ぬり絵



絵手紙



ぬり絵

今福小学校卒業式



ご卒業おめでとう ございます！

3月18日（金）今福小学校の卒業式が挙行され 14名の児童が巣立っていきました。

4月からは中学生 ●勉強やスポーツ、部活といろんなことに挑戦し、新しいお友達と一緒に元気に中学校生活を楽しんでくださいね。地域の皆さんも応援しています。

JA女性部美又支部の活動

2月25日（金）JAしまねいわみ中央女性部 美又支部の皆さんが、80歳以上の一人暮らしの方を訪問し「コロナ禍で暮らしにくい日々ですがお元気でお過ごしください。」とお花等をプレゼントされました。

突然の訪問にもかかわらず笑顔で出迎えてくださったそうです。



お茶べり会

3月8日（火）お茶べり会を開催しました。

今月は軽い体操、間違い探しゲーム、長い棒を使っての風船飛ばしを楽しみました。同時に3個の風船が動くと前後左右に気を配りながら、落とさないよう笑い転げながら飛ばし合いました。



温泉総選挙 2021「うる肌部門」 美又温泉が全国1位

美肌の湯として知られる浜田市金城町追原の美又温泉が、全国の優良な温泉を顕彰する「温泉総選挙 2021」の「うる肌部門」で1位に選ばれました。

美又温泉は、肌再生の効果が期待されるメタケイ酸を豊富に含んだ滑らかな泉質が特徴で、インターネット投票の結果、全国165温泉地が参加した総選挙の全9部門でも最多となる19,563票を獲得し堂々の1位となりました。

美又温泉旅館組合では全国の方々に応援して頂いたお陰と明るい話題に喜んでおられます。

まちづくりセンターボランティア清掃

3月17日（木）センターのボランティア清掃を行いました。高い所の窓拭きや調理室など、地域の方のご協力でもとてもきれいになりました。ありがとうございました。



今月の俳句

越田 武雄

外出して山道行けばふきのとう
ひな飾り終えひし餅を供えけり

春の風玉ネギ急ぎ背のびする
横田 雪生
久々に鍬を添えたり春の土

ふるさと学習会のご案内

テーマ 「地域で安心して暮らし続けるために」

日 時：令和4年4月21日（木）午前9時30分～11時

場 所：波佐まちづくりセンター（ときわ会館）☎44-0146

講 師：佐藤 優子 様（波佐診療所所長）

浜田に1ターンし、波佐診療所に勤めて8年が経ちました。

波佐診療所は金城地域のうち主に波佐地区と小国地区の方を診させていただいています。当日は普段の診療所の様子や、コロナ禍での発熱外来の様子、この地域に多い病気とその対策についてもお話してみたいと思います。

診療所では日々、地域の一番弱い方達の様々な思いをうかがっています。

昨年は『地域で安心して暮らし続けるために、何が必要か？』波佐・小国地区の民生委員さん達と一緒に地域の高齢者にインタビューをしたところ、運転免許返納後の生活の不安等、様々な地域の課題が挙がりました。それぞれのまちづくりセンター、まちづくり委員会ですでに取り組んでおられることも多いと思います。

『地域で安心して暮らし続けるために』当日お集まりの皆様とも、意見交換ができればうれしいです。皆さま誘い合わせて、ぜひご参加ください。